

年 表

※ 太字は学校のできごとをあらわします。
 ※ 町全体のことは梁川地区にのせました。

| 梁 川 地 区 | | 年 | で き ご と |
|---------|--|------|---|
| 年 | で き ご と | | |
| 明治 4 | 藩の名で学校つくる | 昭和19 | ○戦争はげしくなり品物が買えなくなる |
| 5 | ○ゆうびんとりあつかい所できる | 20 | ○太平洋戦争おわる |
| 6 | 陣屋の建物に小学校をおく | 22 | ぎむ教育9か年となり中学校できる P T Aできる |
| 12 | ○旧梁川町役場ができる ○梁川・保原間が県道となる | 23 | 子ども銀行はじまる 給食はじまる |
| 13 | ○けいさつ署ができる | 24 | ○梁川高校が男女共学となる 校内放送はじまる |
| 21 | ○蚕業 <small>さんぎょう</small> とりしまり所できる | 26 | ○このころメリヤス工業さかんになる |
| 22 | ○梁川村が町となる(人口4,715人) ○農業と商業をかねる家が150けん ○天神さまに市がたち、4と9の日に きいとがとりひきされた | 27 | ○公立藤田病院ができる(国見町) |
| 24 | ○東北線が開通する | 28 | 校しゃのしょうじ戸をガラス戸になおす |
| 29 | そうま地方へ6日間の修学旅行をする | 29 | ジャングルジム・シーソーなどつくる |
| 33 | 現在地に校しゃをつくる | 30 | ○1町6か村ががっぺいして梁川町となる ○このころメリヤス工場たちはじめる |
| 40 | ぎむ教育が6か年となる | 32 | 町の水道が学校までひかれる |
| 42 | ○伊達学館ができる(こうこく寺内) | 33 | ○梁川橋かけかえる |
| 43 | ○梁川・保原間にけいべん鉄道開通 ○電とうがつき電話加入者ふえる(46戸) | 34 | ○国保病院できる 小・中のプールをつくる |
| 大正 2 | ○あぶくま川、広瀬川大水 家、田畑流される | 35 | ○公民館ができる(現福祉会館) ○役場を栄町につくりかえる |
| 3 | ○蚕業しけん場できる | 37 | ○このころから自家用車ふえる ○このころからテレビがふえる |
| 7 | ○このころ、せい材所、ぼうせき会社、 蚕種会社できはじめる | 38 | 校歌できる こてき隊できる |
| 8 | ○実科女学校できる | 39 | ○有線放送はじまる |
| 9 | こうどうできる | 40 | 完全給食となる |
| 11 | ○銀行できる | 41 | ○共同しにようしより場できる (粟野地区) |
| 14 | ○私立保育園できる (9年と14年に2つ) | 42 | ○しょうぶざわに町営住宅できる |
| 昭和 2 | ○梁川・福島間に電車が開通する | 43 | 特しゅ学級できる |
| | ○あぶくま川に梁川橋がかけられる | 44 | ○町章ができる |
| 4 | 校しゃぞうちくする(児童数1,173名) | 45 | 町立ようちえんできる 今の校しゃができる 校内テレビ放送はじまる |
| 5 | ○梁川・福島間にバスが開通する | | 幼・小・中共同の給食室できる |
| 7 | ピアノがきふされる | | ○自動信号機つけられる |
| 11 | ○このころ、まきストーブ入る | | ○電車がはいしされる |
| 12 | ○広瀬川の堤防工事はじまる | | |
| 18 | ○大水で田畑が流れる | | |
| 19 | そかい児童がくる | | |